



医学研究院が「ロコモ研究」のための寄附分野を開設し

市民公開講座を開催

概要：

北海道大学大学院医学研究院は、平成29年4月1日、新しく寄附分野「先端的運動器機能解析・制御学分野」を開設しました（寄附者：株式会社日立ハイテクノロジーズ）。

現在、高齢化社会の到来とともに「いかにして健康寿命を延ばすか」が喫緊の課題となっています。特に、要支援・要介護となる原因の第1位（約25%）がロコモ（ロコモティブシンドローム）です。ロコモとは、筋肉、骨、関節、神経といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった運動機能が低下している状態をいいます。また、近年、運動機能と認知機能、精神機能、成人病との関連も解明されつつあることから、運動機能を良好に保つこと、すなわちロコモの予防と改善が、心身を健康に維持するために大切です。理想的な長寿社会実現のためには、運動器の状態を正確に把握できるようにし、その運動器疾患の予防、診断、治療に関する、さらなる研究が不可欠です。

そこで、本分野では、先端的な工学・情報科学・医学・生物学の手法を融合させることで、運動器の評価と制御に関する研究を行います。最終的には、得られた成果をもとに、ロコモ並びにさまざまな運動器疾患に対する革新的な診断・予防方法、さらに再生医療も念頭においた、先端的治療法の開発を目指します。

これらの研究成果は、現在の運動器に関する諸問題の解決に貢献するとともに、我が国のみならず、海外の健康寿命延伸に貢献することが期待されます。

また、ロコモについて市民の皆さまに理解を深めていただくため、市民公開講座「ロコモを知って、健康寿命を伸ばそう」を開催します。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

講座名：「ロコモを知って、健康寿命を伸ばそう」（入場無料、事前申し込み不要）

共催：第133回北海道整形災害外科学会・株式会社日立ハイテクノロジーズ

開催日時：平成29年7月9日（日）14時30分～17時

開催場所：北海道大学 学術交流会館 小講堂（札幌市北区北8条西5丁目）

講演内容：

1：玉腰 暁子 教授（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室）

「日々の生活習慣から健康長寿に」

2：中村 耕三 氏（東京大学名誉教授・ロコモチャレンジ！推進協議会アドバイザー）

「足はなんのためにあるのか —ロコモティブシンドロームの背後にあるもの—」

お問い合わせ先

北海道大学大学院医学研究院 特任助教 角家 健 (かどや けん)

TEL : 011-716-1161 (内線 5936) FAX : 011-706-6054 E-mail : kadoya@med.hokudai.ac.jp